

注意事項

- ・ 質疑応答は、講演の後にまとめておこないます。
- ・ 質問は講演終了までにSlidoに書き込んでください。
- ・ 記録のため、録音・録画します。
- ・ 私的な録音・録画はご遠慮ください。
- ・ セミナー終了後にアンケートへのご協力をお願いいたします。

防災について、アンケート調査結果について

広島大学図書館 村上健治

1. これまでの防災訓練で感じてきた疑問

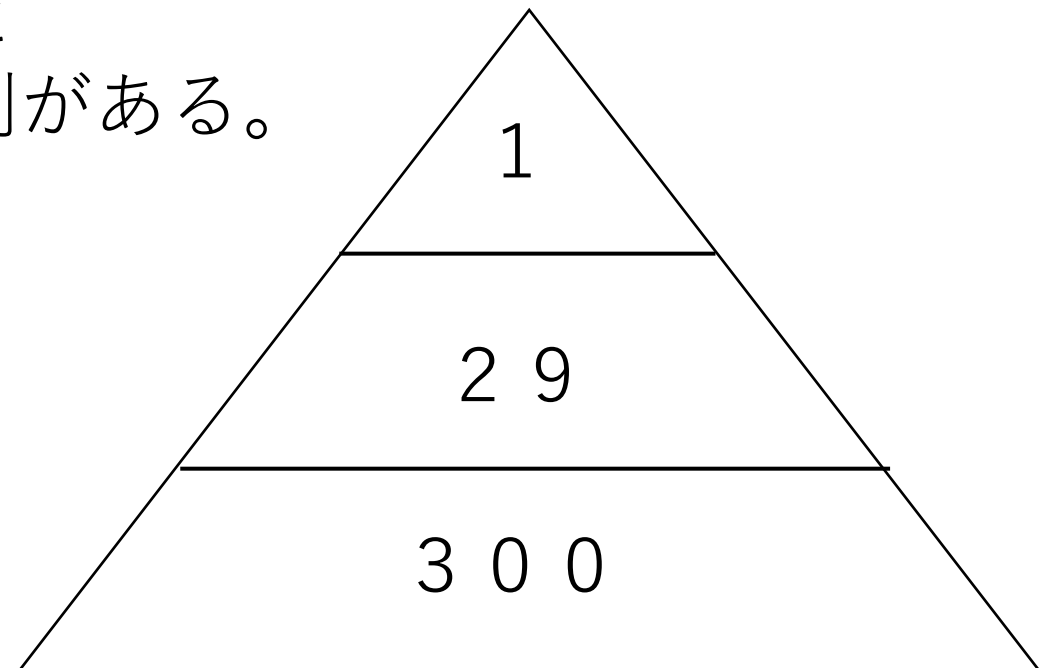
- ・いくつかの大学図書館で勤務したが、それぞれ防災訓練の内容が微妙に違う。
- ・防災訓練の時に必ず持ち出すことになっている「重要書類」とは？

2. これまで（35年ほど）に遭遇した”緊急事態”

- ・救急車： 数回 （自分自身が電話したことはない）
- ・水害・雨漏り： 数回
- ・地震： 2回（1995阪神・淡路大震災、2018大阪府北部地震）
- ・もしかするとボヤになったかもしれない事： 2回
- ・感染症： 1回（新型コロナウイルス感染症）

3. ハインリッヒの法則

- 1 つの重大な事故、災害の背後には
- 29 の軽微な事故・災害と
- 300 のヒヤリ・ハット事例がある。



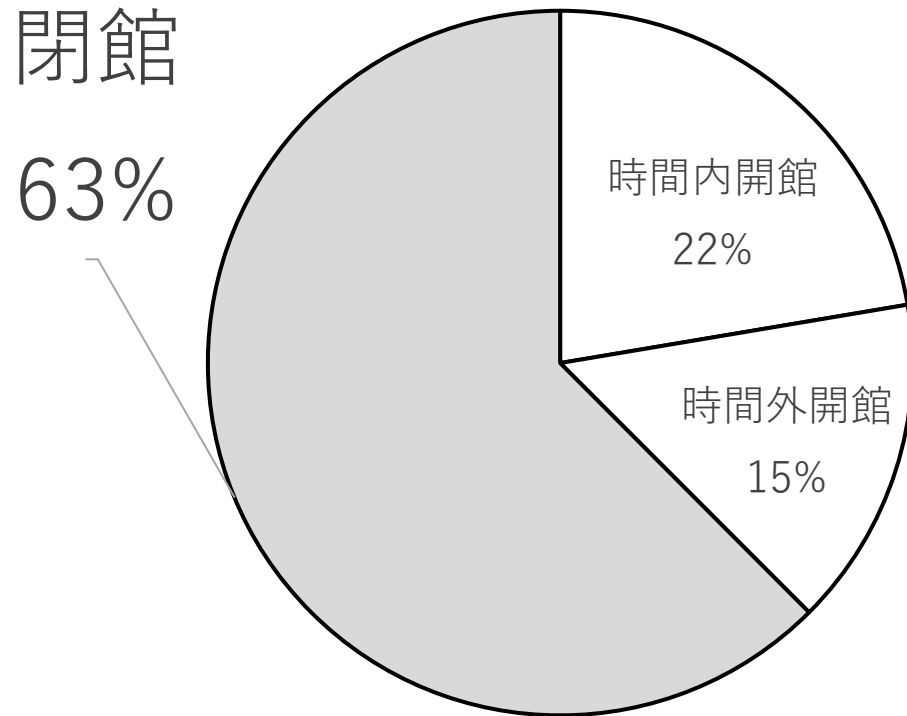
4. 災害はいつ発生する？

- ・ 広島大学図書館（中央図書館）の開館時間

授業期 平日 8：30～22：00 土日祝 10：00～20：00

休業期 平日 8：30～17：00 土日祝 閉館

- ・ （2021年度）年間296日開館 年間開館総時間数 3,286時間



時間内開館	1,958時間
時間外開館	1,328時間
閉館	5,474時間

※緊急事態が発生する時に全ての職員が職場で勤務しているわけではない。

5. 「防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」の比較

- 1995年の調査と2022年の調査を比較した。
 - 対象は国立大学図書館協会（協議会）加盟館
 - 記述式の項目を大幅に削減した。
 - 期間は2022年8月9日から9月20日とした。
- 結果
 - 回収率は大幅に下がった（100% → 71%）。
 - ※1995年は阪神・淡路大震災が起こった年
 - 詳細は資料の通り。

6. 調査結果

- ・ 防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査
 - ・ 中央館に該当する館の状況を調査した。
 - ・ 結果は資料の通り。
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行の影響に係る調査
 - ・ 中央館以外の取組事例を含む。
 - ・ 結果は資料の通り。
 - ・ 流行を契機に顕著に進展した事例がある。
 - ・ オンラインに対応した多くの事例が寄せられた。